

東京農業大学



湘南稲桜会だより

発行 東京農業大学 校友会神奈川県支部 湘南稲桜会 発行責任者 松居靖雄
事務局 〒238-0032 横浜賀市平作4-1-9 清水圭一方 TEL 046-854-0044

＜第22回湘南稲桜会総会開催＞

平成30年5月20日(日)午後2時よりホテルハーバー横須賀にて来賓3名、会員22名が出席して、第22回神奈川県支部湘南稲桜会定期総会が開催されました。小清水副会長の司会により、廣濱事務局次長の開会、松居会長のあいさつ、来賓の紹介の後議案審議に入りました。

平成29年度事業報告・収支決算報告、平成30年度事業計画・収支予算案、役員交通費支給案、役員改正案について審議し異議なく原案通り承認されました。次に来賓を代表して校友会神奈川県支部の加藤支部長より挨拶と大学の近況などについてお話をいただきました。



第2部の記念講演は、近茶流嗣家の柳原尚之氏(平成13年醸造学科卒)にお越しいただき「和食のすすめ—美味しいご飯から始まる—汁三菜—」と題した講演をいただきました。今回の講演には柳原氏のお話しに関心のある一般の方も参加されました。昆布の出汁の飲み比べがあり、産地別での違いがはっきり判りました。また、和食に関しての大変興味あるお話があり、終了後多くの質問が出されましたが丁寧にお答えいただき大変有意義な講演でした。

記念講演終了後一同で記念撮影を行い、関副会長の司会により第3部の懇親会に移り、梅澤顧問の発声による乾杯の後、来賓を囲んで和やかに懇談し、来賓の祝辞、出席者全員の自己紹介と近況報告などで大いに盛り上がった総会となりました。今回は全学応援団長の安齊勇貴君(開発4年鎌倉在住)が参加しそのリードにより学歌を斉唱し、午後6時散会となりました。今回参加できなかった会員の皆様も来年の総会には、ぜひご出席下さるようお願いしております。(事務局)



<池子を語り継ぐ>

8月15日付神奈川新聞の第一面に『平和つなぐ戦後73年の夏 池子を語り継ぐ』の記事が掲載されており見覚えのある人物の写真が写っていた。逗子地区の鈴木久彌さん（S33 学農 83歳）であった。以前何かの折に逗子の柏原村のことをお聞きしたことがあったが、この記事を読んだ後、あらためて鈴木さんにお話をお聞きすることにした。



(8月15日神奈川新聞第1面)

6歳まで自然の豊かな旧柏原村の里山で両親と祖母、弟2人の6人で暮らしていた。16年旧日本軍にから一方的に立ち退きを命じられ、この時代で反対できるわけもなく、周辺の住民とともに山の根へ移った。柏原村（かしわばらむら）は、現在の池子の森自然公園エリアにあった戸数わずか17戸（明治6年時点）の小さな村で、明治7年久野谷村と合併して久木村になった。

住民が去った後、旧海軍は山を削り、田畑を埋めて「東洋一」といわれる巨大弾薬庫を完成させた。戦後この弾薬庫は連合軍が接收し、在日米軍が引き継ぎ使用を続けた。その後昭和56年6月使われなくなった弾薬庫に、米軍住宅を建設することで日米が合意。これ以上豊かな自然を壊されたくないという市民が計画に反対し、市を二分するまでになり昭和59年に反対派の市長を生み出すなど、地方の民意で国の政策を変えようとした運動は当時、「民主主義の実験場」とも呼ばれ、全国にその名をとどろかせた。

平成26年6月池子住宅地区内の土地約40haを共同使用することが日米で承認され、その後、市民が週末などに立ち入ることが出来るようになり、池子の森自然公園「緑地エリア」（旧柏原村の一部）が平成28年3月から利用できるようになった。

鈴木さんは、現地に足を踏み入れ「また戻れる

とは思ってもいなかった。夢のようだ。」と感慨深く語った「池子の森に人々の営みがあったことを、忘れないでほしい。戦争のような、人をいじめる世の中に、二度としてはいけない。それが真の願いだ。だから旧柏原村の歩みを機会があれば語り継いでいきたい。」と語った。鈴木久彌さんは、現在、逗子ガーデンの社長として元気に活躍されている。

(清水)

<かながわシニア美術展連続入賞>

8月23日(木)～26日(日)神奈川県民ホールギャラリーで第17回かながわシニア美術展が開催されました。

湘南稲桜会の関副会長が日本画の部へ出展され、入賞されました(応募以来連続入賞です)、『湘南浅春』の画題でアロエの花が力強く中央に配され遠く江の島が霞んで見えます、まさに浅春の湘南海岸です。関副会長は、永年日本画を描かれており、数年前お母様、お嬢様の親子三代の日本画親子展



も開催しました。今回はお母様の作品も入賞されました。おめでとうございます。90歳になられるお母様は来年も出展されるとのこと、我々もまだまだ頑張らなければとの思いで鑑賞させていただきました。

(清水)

<夏のボラ市「健康によいお寿司をつくりましょう」>

夏のボラ市とは、「夏のボランティア・市民活動体験」の略で、横須賀市立市民活動サポートセンター主催で、横須賀の市民活動を紹介し、応援するキャンペーンです。

昨年に引き続き今年も江間三恵子監事が所属する横須賀食生活研究会の主催で8月3日に総合福祉会館調理室で開催されました。参加者は19名で

そのうち4名は横須賀市立総合高等学校の女子生徒4人がボランティアとして参加しました。作った料理は、見た目が華やかでケーキのようなお寿司、カルシウムの補給源として牛乳を使った茶碗蒸し、パイン寒天、楽しい趣向のあるフルーツポンチです。江間さんの講義・デモンストレーションの後3~4人のグループに分かれ指導を受けながら楽しく調理しました。ボランティアの高校生は、食材の仕分け、洗米、茶碗蒸しの器の準備、後片付け等テキパキやってくれたと江間さんも喜んでいました。手際よく調理するグループ、悪戦苦闘のグループもそれぞれ完成した料理に満足していました。出来上がった料理を皆で食べながらの感想は、「お寿司のケーキがきれいでできて美味しかった」、「サーモンでバラの花の形を作るのが難しかった」、「可愛いお子様や高校生、大人も一緒に明るいムードでよかった」、「寿司グルメのレポートを沢山やってほしい」などでした。今回は松居会長、清水事務局長も参加しました。(清水)



副会長(S50 学栄)の準備した手料理、参加者がそれぞれ持ち寄った葉山牛、美味しい日本酒など堪能しました。学生時代を懐かしむ話で大いに盛り上がりあっという間に時間が過ぎてゆきました。来年も行いたいと思いますので、是非お運びください。総会や研修会とは一味変わった校友の集まりでした。(事務局)

参加の下嶋武志会計(S45 学造)の一句
秋風の 戦ぐ久木の バーベキュー
和やかに すだく久木の 十余名

参加の下嶋武志会計(S45 学造)の一句
秋風の 戦ぐ久木の バーベキュー
和やかに すだく久木の 十余名

参加の下嶋武志会計(S45 学造)の一句
秋風の 戦ぐ久木の バーベキュー
和やかに すだく久木の 十余名



参加の下嶋武志会計(S45 学造)の一句
秋風の 戦ぐ久木の バーベキュー
和やかに すだく久木の 十余名

<湘南稲桜会だより

40号によせて>

40号の発行を記念して、「湘南稲桜会だより」に対する、感想、思い出、意見等を書いていただきました。

会長 松居 靖雄(昭和43年院化修)

「湘南稲桜会だより」(以下たよりと略す)は今回、40号を発刊するという記念すべき節目となりました。

これは先輩諸兄をはじめ会員皆様からの投稿、および編集委員会の寄稿依頼や編集努力の賜であります。発行責任者として厚く御礼申し上げます。

たよりの変遷を湘南稲桜会創立20周年記念誌「20年のあゆみ」から推察しますと、平成9年に創刊し、平成11年までは年1回の発刊で、平成12年からは年2回の発刊となり、現在に至っております。創刊から3号までは縦書き原稿で、編集には大変ご苦労されたようです。4号以降からは横書きとなり、写真の挿入方法の簡素化や解像度も年々向上し、見やすく、読みやすい誌面となってきております。

内容も総会の報告や研修会の報告は無論のこと、会員の活動紹介、寄稿(就業内容、学習、趣味、ボランティア活動、地域活動)等、会員相互の情報源として活用して頂けるような充実した紙面にしたく考えております。

<地区の活動>

西日本豪雨により大きな被害があったり、連日の酷暑があったりで今年は厳しい夏ですが、三浦半島地区は幸いにも豪雨に合わず、酷暑の峠も超える気配も出てきました。

逗子地区の会員の皆様のご尽力による恒例の暑気払いは、今年も逗子の鈴木久彌会員(S33 学農)のご厚意により6回目を開催することができました。逗子・葉山地区以外の会員にも声をかけ8月19日(日)にバーベキューを行いました。

今回は、逗子地区、葉山地区、鎌倉地区、横須賀地区の会員、家族も参加し10名となりました。鈴木久彌会員の娘さん鈴木由美会員(H1 学造)、関

たよりの年2回発刊は先輩諸兄の培ってきた運営方針を遵守しており、今後とも継続していく所存でございます。

是非、会員の皆様からの投稿をお待ちしております。よろしくお願い申し上げます。

小清水 征雄 (S39 学畜)

「湘南稲桜会だより」は先輩諸氏のご努力により創刊され、代々の編集委員に引き継がれ本号で第40号を発行することが出来ました。主な記事の内容は、会員の動向、催事の報告、会員の投稿など受け会員相互の情報の交差点として紙面を構成しています。

現在、編集委員としての私見として「たより」が届くのを心待ちしてくれる会員が一人でも多くいてほしいです。それには内容もニーズに合ったものにしたいと思っています。たとえば農業のプロの会員に「やさしい野菜づくり」又、旅行好きな会員には旅行案内など投稿もお願いしたいと思います。時々の農政の動向なども連載していき、紙面の充実を今まで以上に会員読者に親しめる内容に努めていきたいと考えています。

関 恵梨子 (S50 学栄)

「たより」はインフォメーション

湘南稲桜会「たより」を読むのは、楽しみの一つです。会員である仲間たちの様子が分かって面白い。以前も平塚農業高校初声分校の直売場紹介について川名先生の文章がたよりに載りました。そのあと会長はじめ数人でシクラメンを購入しに初声分校へ出向いた事を聞き、我が家も家族でナビを頼りに向かいました。直売所では10人位の方が並んでいて、野菜の販売(八百屋さんより安い)、我が家でも作っていますので、ホウレン草のみ購入。又川名先生にもお目にかかり、サイネリアの鉢植えを10鉢購入して、近所に差し上げ、大いに喜ばれました。又ブロッコリーの摘み取りをビニール袋一杯で100円、商品に出せないキャベツを1個50円で分けていただく。今年4月学校が統合され、「それでも直売所はやりますよ」と川名先生に言われ、又機会があったら出かけます。たよりは、会員へのインフォメーションにも役立っていますよ。

臼井 浩 (S41 林学)

一期一会

当会の歩みに寄り添い、『40号』の創刊を迎えられるのはこの上ない喜びです。想うに二十余年前平成9年の第1回総会にさかのぼり、それが諸

活動の原点でした。故小林貞作氏の記念講演と続く懇親会も特別意義のあるものでしたが、当日は生憎の天気で来賓の方々には御苦勞をかけました。ほどなく祝宴に入り「スズキ・ユキオ」氏(農経卒)と隣席し、自己紹介より彼が三浦市社会福祉在職中なることも知りました。さて、「話の緒」をどうしたものか?男同士の見合いよろしく、成り行きで「趣味」の話になりました。彼は特になく、私が受ける番です。「林産学履修」に因み、ネットに後日投稿(9月9日付)の回文『山菜の茸は此の木遺産さ』としました。今は唯々ご健在なることを、祈っています。

白鳥 武秀 (S39 学化)

稲桜会だより40号おめでとうございます。

猛暑、酷暑に加え台風、大雨のこの夏高校野球のテレビ中継を観ながら家で静かにしている毎日です。「たより」は毎回楽しみながら会員皆様のご活躍を拝見しております。

普段あまりお会いしない会員の方々の声を「たより」の紙面でお聞き出来たらと思います。

鳴村 勝美 (S39 学化)

湘南稲桜会だより毎回楽しく拝読しております。大学の情報や校友の手記など親近感があり、いつも一気に読了しています。特に農大卒業生の活躍などの記事を読むと我が事のように嬉しく元気が出て、自分ももう少し頑張ろうという気分になります。

この「たより」は、校友同士の意志の疎通を深めると共に会の存在を高める重要な役割を果たしています。編集に携わる委員の方々にはさぞご苦勞も多いことと思いますが、会の看板である「たより」の発行のためにご尽力のほどお願い申し上げます。

澤地 理 (S49 学農)

今回「たより40号」が発行されますが、長きにわたり編集をされてきました方々に、まずもって感謝をいたします。

この間色々な内容を取り入れご苦勞があったと思いますが、興味をもって読ませていただきました。今後は、多くの卒業生の方々からの投稿も期待しております。

下嶋 武志 (S45 学造)

知恵絞り 惑わず編みし 四十号
洛陽の 紙価を上げ得ず 四十号

四十号 重ねて齢 忍び寄る

水留 亨 (S44 学造)

多くの方々の献身的活動により、たより第40号を迎えるとのこと、湘南稲桜会のこれからの発展の為には、会の目的である「会員相互の親睦と情報交換を密にするとともに、東京農業大学の繁栄のために相互協力を高め、併せて会員の社会的地位の向上のために努めること」を改めて認識しつつ、新会員が一人でも多く入会され、益々賑やかな湘南稲桜会になるよう願っています。

磯谷 ゆり子 (S48 学栄)

平成21年から湘南稲桜会の幹事として愉快的皆様の仲間入りをさせていただいています。無理なく参加できる会ですので校友の場を広げる場として皆様もご参加になりませんか。見識の高い方々(私以外)が集まっています。お待ちしております!

湖水 康史 (S62 学農)

たよりの思い出ですが、たよりも最初の頃から比べると、写真が多くなり、カラーになり、きれいになりました。

一番最初は、文章ばかりで、図や写真もコピー機でコピーしたものを貼り付けていたので、かなり見にくいものでした。その後、写真をスキャナーで取り込んで、コントラストを調節して、白黒に変換してという事をやっていたのですが、そのうち写真がだんだんデジタルカメラに変わり、そして今のようにカラーに変わって、ずいぶん、見やすくなりましたし、作業も楽になりました。最近、写真が多くなったので、写真の大きさで、最後のページの納まりも調整できるようになって、そのへんも以前に比べてずいぶん楽になりました。

ここ20年少しで、見た目はずいぶん変わりましたが、寄稿していただく文章の話題の豊富さは、以前から変わらずだと思います。興味深い記事がけっこうありますし、毎回、6ページが埋まります。すごいことだと思います。

清水 圭一 (S46 学造)

継続は力

湘南稲桜会だよりが40号まで休みなく続いてこられたのは、諸先輩方の努力の結果にほかなりません。第20号の編集後記に「今回で20号を発行することになりました。会員への校友会や校友の情報のニュースとして手作りの取り組みを続け

てきました。・・・」とありました。時間の経過とともに少しずつ編集の内容が変わってきていますが、今後も「身近な校友の情報を伝達することをねらって発行を続けていきたいと思えます。

<会員からのたより>

総会の出欠席回答はがきに寄せられた会員のたよりをお伝えします。 敬称略(事務局)

(横須賀地区)

・小清水 征雄 (S39 学畜)

総会、講演会講師手配ありがとうございます。事務局大変ですがよろしくお願ひいたします。

・廣濱 徹 (S41 学造)

1年が過ぎるのが毎年早くなり、今年も総会のシーズン。ご苦労様です。「湘南稲桜会だより」楽しみにして愛読しています。

・小清水 かほる (S46 学経)

講演会たのしみにしています。

・菊本 充 (S58 学経)

福岡単身赴任生活4年目に突入です。

・湖水 康史 (S62 学農)

2月迄の寒さから一気に初夏の暑さに。作物の生育に仕事がなかなか追いつきません。

・原田 義和 (H3 短農)

トマトの収穫と管理作業に日々追われています。

(鎌倉地区)

・梅澤 稔 (S33 学農)

総ての役職を退き、自家農業に専念しています。

・渡邊 文雄 (S59 学工)

当日都合がつかず参加できません。盛会を祈念致します。

(逗子地区)

・鈴木 由美 (H1 学造)

お世話になっております。さきに予定が入っており、欠席いたします。

(三浦地区)

・池田 尚弘 (S40 学農)

福島県浪江町吉沢牧場(希望の牧場)(畜産卒)、岩手県大槌町開発学科活動ほかの応援に5月15日まで出掛けます。

- ・小泉 幸太 (H29 農学)
当日は残念ながら所用のため出席することがか
ないません。お誘いいただきありがとうございます。

(葉山地区)

- ・下嶋武志 (S45 学造)
ヒザ痛を押して出席します

<会員増強のお願い>

未加入校友に声かけ運動をすすめよう
毎年、会員の加入促進に取り組んでいますが新規
加入者は微増にとどまっています。

「湘南稲桜会だより」への掲載、会員・役員の声
かけ等、常時行っていますが実績は芳しくありま
せん。このまま進むと高齢化がすすみ若年層が少
なく組織的にも財政的にも危機的状況になりつつ
あります。将来的に稲桜会が維持・発展してゆく
ためには新規会員の加入促進が急務であります。
ぜひとも、会員皆様の力が必要です。お知り合い
の方に声かけし加入をすすめて下さい。

(会員増強対策委員会)

<会費納入のお願い>

毎度のお願いになりますが、年会費 3,000 円を
未納の方は同封の郵便払込取扱票にてよろしくお
願ひいたします。

会の活動・運営に欠かせない会費であります。
(事務局)

<編集後記>

湘南稲桜会だより 40号をお届けします。

ひと頃の「命にかかわる暑さ」も旧盆を境にや
や落ちついてきました。台風も次々と発生し、そ
れに伴う豪雨の影響で各地で被害が出ています。
夏の風物詩である高校野球は猛暑の中、熱い闘
いが繰り広げられました。

県立金足農業高校、KA・NA・NOの快進撃に
地元の人、農業関係者、農業系の教育機関だけ
でなく縁もゆかりのない人まで応援し“がんばれ”と
声を上げた要因は選手全員が県内の中学出身、9
人野球を貫き地方大会5試合、甲子園でも守備、
打順を変更しないで全員3年生で試合にのぞいま
した。私立の強豪校と違い、“雑草軍団”として地
道に戦ってきたことが、多くの共感と日本人特有
の判官びいきが作用したのであろうと思います。
校歌を“エビぞり”で歌う姿も躍動感が溢れていま
した。準優勝でありましたが金足農の活躍は地元
はもちろん、全国の農業関係者を元気づけてくれ
ました。
(M. K)

平成30年度 研修会のお知らせ

本年度の研修会スケジュールが下記の通り決
まりました。

リニューアルされた日比谷花壇大船フラワー
センター(旧県立大船フラワーセンター)と大
船観音の参拝を計画しました。ご家族・お友達
お誘いの上、ご参加ください。

- 1 日時 平成30年10月27日(土)
午後1時~4時
- 2 行程 JR大船駅西口→
日比谷花壇大船フラワーセンター→
大船観音寺→JR大船駅西口(解散)
解散後、希望者による懇親会を行います。
- 3 集合時間・場所
午後1時 JR大船駅西口
- 4 懇親会 午後4時10分ごろから
JR大船駅西口から徒歩3分の居酒屋
- 5 参加費
研修会参加費: 1,000円
(傷害保険料、入園料等)
懇親会参加費: 4,000円
両方参加: 5,000円
- 6 申込み 別途はがきにて
10月15日(月)まで

